

RETAILER ACADEMY NEWS

Aug 2020 | Bentley Motors Japan



生産能力を100%へ戻し 新型ベンティガの生産が進行中



ベントレー モーターズは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために抑制していた生産能力を通常に戻し、6月30日（日本時間7月1日）に発表した新型ベンティガの生産をクー工場で開始したことを発表しました。デリバリーはヨーロッパのお客様から開始されることになります。クー工場は、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として従業員がソーシャルディスタンスを保ちながら作業してきたため、生産能力を通常時の50%に抑制していました。今後は従業員の安全を確保しながら、生産能力を100%に戻すうえでの包括的なレビューに従って作業されることになります。

その結果、アSEMBリーエリアの細かい部分を再設計し、修正されたタクトタイムに沿って1mのソーシャルディスタンスを保ちつつコントロールされた安全な作業環境が実現。他のすべてのエリアでは、2mのソーシャルディスタンスが厳格に維持され、フェイスマスクの着用は工場の全エリアで義務付けられています。

新たな体制での作業が始まりましたが、新型ベンティガはお客様が期待されるベントレー独自の厳しい基準を満たす、かつてないレベルの生産品質を達成しています。車両は製造工程で43の段階を進む間、100人以上の従業員がソーシャルディスタンスをキープした生産ラインで作業をしています。



ベントレー モーターズのピーター・ボッシュ取締役（マニファクチュアリング担当）は、「生産能力を100%に戻す前に、個々のプロセスを見直してその効率と効果を確認し、ソーシャルディスタンスを確保しつつ業界をリードするリーンテクニックを実装しました。私たちが新たな工程での生産開始で見ているのは、インテリアとエクステリアの両方で大幅に進化し、業界全体の製造レベルと照らし合わせても記録的な品質に達しているクルマです。セグメントを定義づけるラグジュアリー SUVとして誕生したこのモデルは、その水準を再び引き上げました」などとコメントしています。



COMPETITOR INFORMATION



8代目911の第3のボディバリエーション ポルシェ 911 タルガ

ポルシェジャパンは、8代目となる現行ポルシェ 911の第3のボディバリエーションとして、911タルガ4と911タルガ4Sの予約受注を2020年5月18日に開始しました。また、全世界992台限定となる、911タルガ4S ヘリテージデザインエディションの予約受注も6月2日に開始しています。

新型ポルシェ 911 タルガのまとめ

- ・クーペ、カブリオレに続く第3のボディバリエーション
- ・カブリオレのオープントップ走行の楽しさと、クーペの快適性・安全性を融合したモデル
- ・先代モデルの991型と同様の革新的な全自動ルーフシステムを採用
- ・スイッチひとつで頭上のルーフセクションがリアウィンドウ内に収納。ルーフ開閉時間は19秒
- ・現行の911と同じ2基のターボチャージャーを搭載する3.0リッター水平対向6気筒エンジンを搭載
- ・駆動方式は4輪駆動のみ
- ・トランスミッションは8速PDKのみ
- ・ポルシェアクティブサスペンションマネジメントシステム (PASM) とポルシェウェットモードを標準装備

エクステリアの特徴

- ・1965年に誕生した初代タルガモデルを彷彿とさせる、Bピラーを兼ねたシルバー仕上げのタルガバー
- ・サイドに大きく回りこむラップアラウンド型の大型リアウィンドウ
- ・ボディパネルはアルミ製



インテリアの特徴

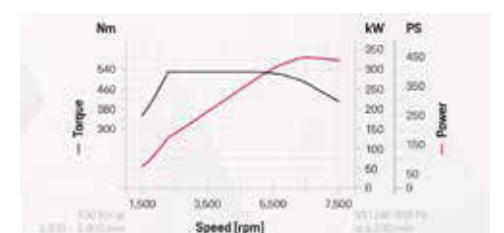
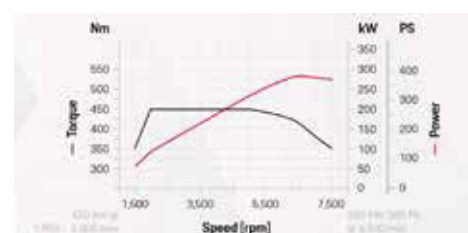
- ・伝統的な5連メーターのデザインを踏襲しながら、中央のレヴカウOUNTERの左右にはディスプレイを配置
- ・ポルシェコミュニケーションマネージメント (PCM) にはオンラインナビゲーションとPorsche Connectを標準装備
- ・911タルガ4/911タルガ4Sのどちらも右/左ハンドルが選択可能

価格

ポルシェ 911タルガ4:	17,290,000円
ポルシェ 911タルガ4S:	20,600,000円
ポルシェ 911タルガ4S ヘリテージデザインエディション:	26,160,000円

911タルガ4/911タルガ4Sのまとめ

911タルガ4	911タルガ4S
最高出力 385ps	最高出力 450ps
最大トルク 450Nm	最大トルク 530Nm
最高速度 289km/h	最高速度 304km/h
0-100km/h加速 4.4秒 (スポーツクロノパッケージ装着時4.2秒)	0-100km/h加速 3.8秒 (スポーツクロノパッケージ装着時3.6秒)
標準ホイールサイズ フロント19インチ リア20インチ	標準ホイールサイズ フロント20インチ リア21インチ
標準タイヤサイズ フロント235/40 ZR19 リア295/35 ZR20	標準タイヤサイズ フロント245/35 ZR20 リア305/30 ZR21



911タルガ4S ヘリテージデザインエディションのまとめ

- ・1950年代から1980年代の特徴的な911のデザインを再解釈して当時の特徴を蘇らせるヘリテージデザインモデルの第一弾
- ・911タルガ4Sをベースに、1950年代と1960年代初頭の歴史的なデザインエレメントを備え、992台を限定生産
- ・専用塗装のチェリーメタリックを含む5種類のボディカラーに、ホワイのグラフィックを組み合わせたエクステリア
- ・1963年当時のポルシェクレストを、ボンネット、ステアリング、ホイールセンターキャップ、リモコンキーに装着
- ・2種類のツートンレザーインテリアを設定。シートとドアトリムにはポルシェ 356と同じコーデュロイ素材を使用



COMPETITOR INFORMATION



特別仕様車	メルセデス・マイバッハ Sクラス グランドエディション
発表・発売日	2020年6月26日 発売
概要	<ul style="list-style-type: none">メルセデス・マイバッハ S 560および S 560 4MATICをベースにした限定10台の特別仕様車外観ではMAYBACHロゴLEDプロジェクターと20インチ鍛造ホイールを装備内装ではファーストクラスパッケージ、各部をナッパレザー仕上げとしたdesignoレザーパッケージの採用など、贅を凝らした仕様
車両価格 (税込)	メルセデス・マイバッハ S 560 Grand Edition：29,000,000円 メルセデス・マイバッハ S 560 4MATIC Grand Edition：29,000,000円
デリバリー開始時期	—



ニューモデル	メルセデス・ベンツ GLEクーペ
発表・発売日	2020年6月11日 受注受付開始
概要	<ul style="list-style-type: none">SUVのメルセデス・ベンツ GLEをベースにしたクーペモデルが2代目にフルモデルチェンジホイールベースの延長により、後席の快適性が向上。ラゲッジルーム容量も拡大3.0L 直6のクリーンディーゼルとISG付ガソリンターボエンジンの2本立て
車両価格 (税込)	メルセデス・ベンツ GLE 400 d 4MATIC クーペ スポーツ：11,860,000円 メルセデスAMG GLE 53 4MATIC+ クーペ：14,210,000円
デリバリー開始時期	2020年6月下旬



ニューモデル	ポルシェ カイエンGTS/カイエン GTSクーペ
発表・発売日	2020年6月12日 予約受注開始
概要	<ul style="list-style-type: none">先代カイエンGTSの3.6L V6ツインターボエンジンから、4.0L V8ツインターボエンジンに回帰最高出力は20psアップの460psに、最大トルクは20Nmアップの620Nmに強化専用エグゾースト、20mmローダウンした足回り、スポーツデザインパッケージなどを装備
車両価格 (税込)	ポルシェ カイエンGTS：16,820,000円 ポルシェ カイエンGTSクーペ：17,520,000円
デリバリー開始時期	—



ニューモデル	BMWアルピナ B5 リムジン アルラット/ B5 ツーリング アルラット
発表・発売日	2020年6月10日 予約受注開始
概要	<ul style="list-style-type: none">BMW 5シリーズのフェイスリフトに伴い、大型のキドニーグリルや新デザインのライトなどを採用4.4L V8ターボエンジンは、最高出力621ps、最大トルク800Nmを発揮駆動方式は4輪駆動のみ。ボディはセダンの「リムジン」とワゴンの「ツーリング」を用意
車両価格 (税込)	BMWアルピナ B5 リムジン アルラット：18,980,000円(LHD) 19,390,000円(RHD) BMWアルピナ B5 ツーリング アルラット：19,779,000円(LHD) 20,189,000円(RHD)
デリバリー開始時期	2021年春



一部改良	レクサス LC500/500h
発表・発売日	2020年6月18日 発売
概要	<ul style="list-style-type: none">サスペンションやホイールの軽量化により、ばね下質量を約3.7kg軽減電子制御サスペンションとパワーステアリングの制御を変更し、操縦性やライントレーシング性を向上日常的な走行シーンでバワフルな加速性能を感じられるよう、駆動力特性を追求
車両価格 (税込)	レクサス LC500 “S package”：14,500,000円 レクサス LC500 “L package”：13,500,000円 レクサス LC500h “S package”：15,000,000円 レクサス LC500h “L package”：14,000,000円
デリバリー開始時期	—



ニューモデル	レクサス LC500 コンバーチブル
発表・発売日	2020年7月15日 発売
概要	<ul style="list-style-type: none">レクサスのフラッグシップコンバーチブルにふさわしい、流麗なスタイリングと細部までこだわったインテリアを採用ソフトトップの採用により、軽量化と美しいスタイリングを実現。ルーフ開閉時間は約15秒青の洞窟をモチーフとした60台限定の特別仕様車を設定
車両価格 (税込)	レクサス LC500 Convertible：15,000,000円 レクサス LC500 Convertible 特別仕様車“Structural Blue”：16,500,000円
デリバリー開始時期	—

OPTION

フライングスパーに世界初の3Dウッドパネルが登場

ベントレー モーターズはこのほど、新型フライングスパーのオプションとして、画期的な3Dウッドトリムパネルをオプション設定したと発表しました。3Dウッドパネルは自動車メーカーでは世界で初めて採用されるもので、印象的なダイヤモンドの 패턴を木材に機械加工し、立体的な表面仕上げを施したものです。

この新しいオプションは、マリナーの3つの事業領域のうち「コレクション」部門が担当するユニークなウッドパネルの選択肢の1つで、現代的でラグジュアリーなデザインとしながら、木の自然な美しさを融合させています。リアドアとクォーターパネルがそれぞれ、伝統的なスキルと現代技術の融合により、サステナブルに調達したアメリカンウォルナットまたはアメリカンチェリー材の単一のブロックから

手作業で作られています。

3Dウッドパネルのコンセプトは、2015年のジュネーブ モーターショーで発表されたコンセプトカー「EXP 10 Speed 6」に採用されており、大絶賛されたものです。この特徴的な模様は、マリナー ドライビング スペシフィケーションを選択すると装備される3Dダイヤモンドキルティングの形状からインスピレーションを得ています。マリナーが複雑なコンセプトを現実のものとするまでに、18カ月間にわたる開発期間を要しました。3Dウッドパネルのパーツは、立体的な表面を実現するため多軸ルーティングマシンを使用し、人間の髪の毛よりも細い0.1mmという公差で木材を彫り、完璧な出来のために手作業で仕上げていきます。



公差わずか0.1mmという精度で削り出し、手作業で仕上げた立体的な表面。

フライングスパーのインテリアデザイン責任者であるブレット・ボイデルは、「3Dウッドパネルは、コンセプトカーのアイデアが製品化へとつながった次世代のインテリアデザインの要素です。幾何学的な3Dのダイヤモンド型をウッドに加工するという原理は、ジュネーブモーターショーで好評を博し、新型フライングスパーのお客様に対してこのコンセプトを現実のものにすることに価値があると確信しています」などとコメントしています。



3Dウッドトリムを初採用したコンセプトカー「EXP 10 Speed 6」のインテリア。

NEW MODEL



ベンテイガ Speedを発表 パフォーマンスとクラフツマンシップの融合

ベントレー モーターズはこのほど、新型ベンテイガのラインアップにベンテイガ Speedを追加しました。クルー工場で手作業にて組み上げられるこのベンテイガ Speedは、W12エンジンを搭載し、マリナー ドライビング スペシフィケーションを含むさまざまなオプションが標準装備されている、エフォートレスなパフォーマンスと比類のないクラフツマンシップが融合したモデルです。「Speed」モデルは2007年のコンチネンタルGT Speedから始まりましたが、先代ベンテイガ Speedが2018年のバイクス・ピーク・ヒルクライムで市販SUV部門の新記録を樹立したように、新型ベンテイガ SpeedもSpeedモデルの栄光の歴史を踏襲するモデルとなっています。

PERFORMANCE

絶対的なパフォーマンス



新型ベンテイガ Speedは6.0リッター W12 ツインターボエンジンを搭載しており、最高出力は635PSです。また、1,500rpm～5,000rpmの間で発揮される最大トルク900Nmが、エフォートレスな加速を保証します。このエンジンがもたらすが、最高速度306km/h、0-100km/h加速3.9秒という絶対的なパフォーマンスです。

一方で、燃費向上策も講じられています。気筒休止システムが、不要な場合は12本のシリンダーのうち6本を停止。再度必要になると、乗員が気づかないほどシームレスに6本のシリンダーが再稼働します。さらに5～8速ギアで高速道路などを巡航速度で走行中は、アクセルペダルから足を離すとトルクコンバーターをオープンにしてエンジン回転数をアイドリング程度に近づけます。再びアクセルペダルが踏み込まれるか、下り坂に差し掛かるとエンジン回転数を上げるために、トランスミッションが再び接続されます。

	ベンテイガ V8	ベンテイガ Speed
エンジン	4.0リッター V8 ツインターボ	6.0リッター W12 ツインターボ
総排気量	3,996 cc	5,950 cc
最高出力	550 PS@6,000 rpm	635 PS@5,000-5,750 rpm
最大トルク	770 Nm@1,960-4,500 rpm	900 Nm@1,500-5,000 rpm
最高速度	290 km/h	306 km/h
0-100km/h 加速	4.5 秒	3.9 秒

※数値は欧州参考値

EXTERIOR

パフォーマンスを反映したエクステリア

ダークティントヘッドランプ&テールランプ	ボディ同色サイドスカート
専用デザインのフロント&リアバンパー	テールゲートスポイラー
ダークティントラジエーターグリル&バンパーグリル	22インチ専用ホイール (ペイント仕上げorダークティント仕上げ)
ボディサイド下部の「Speed」バッジ	楕円形エグゾーストパイプ
標準カラー 17色とオプションカラー 47色、24種類のデュオトーンから選択可	



INTERIOR

ラグジュアリー&パフォーマンスがテーマ

Speed専用カラスプリット (バックレストのセンターパネル、ギアレバー、ステアリング、ロワーニートリム、アッパーピラートリムの素材はアルカンターラになります。レザー スペシフィケーションを選択すると通常のレザーに変更可)	
Speed専用デザインのダイヤモンドキルティングのステッチ (1色はコントラストカラー、もう1色はレザーカラーのステッチ)	
マリナー ドライビング スペックを標準装備	フェイスパネルの「Speed」バッジ
イルミネーテッド「Speed」トレッドプレート	



新型ベンティガは後席の快適性を十分にアピールしてください

リテーラーの皆様には、新型ベンティガに関するさまざまな資料を共有済みですが、その中でこのモデルのアドバンテージとして強調されているのが、後席スペースの快適性がアップしたという点です。

4シート コンフォート スペシフィケーションでは、後席バックレストのリクライニング角度が9度追加されて最大40度となっているほか、シート可動範囲が30mm延長されたりバックボードまでのクリアランスが拡大されたりしたことで、レッグルームが広がり後席スペースにさらなる余裕が生まれています。ショーファードリブンとしての用途がメインのお客様にも十分にご満足いただける点をアピールしてください。

5シート設定は、旧型でも後席のスペースは十分なものでした。新型の標準仕様である5シート設定も同様で、身長180cmの男性が乗車する場合でもレッグルームには余裕があります。ベンティガをショーファードリブンとしての用途で購入を検討されるお客様に対しても、4シート設定はもちろんですが、標準の5シート設定でも十分な快適性が得られることをアピールしてください。5シートのコンフォート スペシフィケーションを選択すると、ベンチレーター機能やコンフォートヘッドレストが追加されて快適性がさらにアップしますので、併せてお勧めください。5シートのリアシートのリクライニング角度が6度から14度になってさらに快適性が増している点も、お客様に確実に伝え下さい。



身長180cmの男性がゆったりと着座できる5シーターの後席。



新型（写真左）の膝周りは、旧型（写真右）と同等に余裕があります。リクライニング角度の増加と併せ、快適性は大幅にアップしています。



COLLECTION

コレクター垂涎の逸品 コンチネンタルGTのビスポークモデルカー



ベントレー モーターズの公式アイテムを揃えるベントレー コレクションには、ベントレーを忠実に再現したモデルカーがラインアップされています。長時間をかけて細部にまで最新の注意を払って仕上げられる1:8スケールのコレクターズアイテムから、ディテールがしっかりと再現された1:43スケールモデル、ミニチュアの1:64のモデルまで、さまざまなスケールのモデルカーをご用意しています。

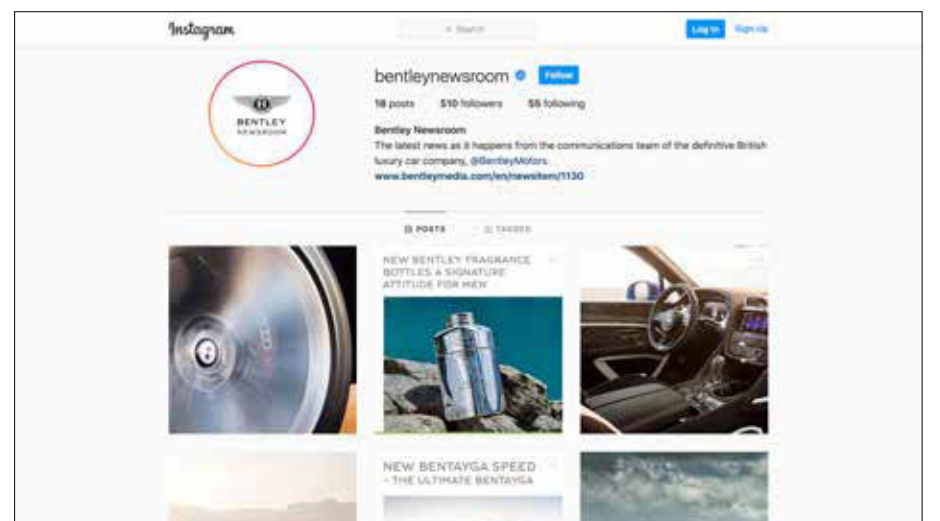
特に1:8スケールモデルは、実物のコンチネンタルGTに忠実なレプリカで、お客様がモデルカーをパーソナライズできるオーダーメイドオプションを提供しています。全長78cmのこのスケールモデルでは、小さなステアリングのクロスステッチやシートのダイヤモンドキルティング、光沢のあるウッドパネルも忠実に再現されています。

1:8のスケールモデルは、注文された瞬間から納品まで、ベントレー デザイン スタジオの監督のもとで製造されます。製作には計約300時間かかります。

お乗りいただいているベントレーの忠実なミニチュア製造をご提案するなど、お客様に積極的にお勧めください。

SNS

新しいソーシャルメディアチャンネル 「ベントレー ニュースルーム」開始



ベントレー モーターズはこのほど、新しいソーシャルメディアチャンネル「ベントレー ニュースルーム」をInstagramにて立ち上げました。このチャンネル（www.instagram.com/bentleynewsroom/）は、ベントレーのコミュニケーションチームによって管理されるもので、グローバルイベントの舞台裏やクルーの最新ニュース、ブリティッシュブランドを作っているExtraordinaryな人々のストーリーを発信していきます。また、他のベントレーのソーシャルメディアで未発表の画像や動画も紹介していく予定です。

余暇をご自宅で過ごすお客様もまだまだ多く、SNS利用頻度も格段に上がっています。業務の合間などにベントレー ニュースルームをご覧いただくとともに、お客様にもご紹介ください。

■ ベントレー ニュースルーム (@BentleyNewsroom)

<https://www.instagram.com/bentleynewsroom/>



SUVのオフロード性能の基本の数値

SUVのオフロードでの走破性能は、4WDシステムの性能も重要ですが、基本となるのはタイヤと車体の位置関係です。タイヤのある場所が悪いと、わずかな段差さえ乗り越えることができなくなります。そうしたタイヤと車体の関係を示す数値がアプローチアングルとデパーチャーアングルという2つのアングル（角度）、そしてグランドクリアランス（最低地上高）となります。



物理的な走破性を示す重要な数値

クルマの走破性能の目安となる数値がアプローチアングルとデパーチャーアングル、そしてグランドクリアランス（最低地上高）です。アプローチアングルとデパーチャーアングルは車両のバンパー下とタイヤのトレッド面とを結ぶ前後の線の角度のことを示します。この角度が大きくなるほど、より大きな段差を乗り越えることが可能となります。どんなに優れた4WDシステムを持っていても、タイヤが段差や突起に接地できなければ能力を発揮することができないのです。同じように、グランドクリアランス（最低地上高）が低いと地面にお腹がつかえてしまって走れなくなるため、数値が大きいくほど走破性に優れることを意味します。

■ ベンティガのスペック

アプローチアングル	25度
デパーチャーアングル	25度
グランドクリアランス	247mm
最大渡河水深	500mm
登坂能力	35度



デパーチャーアングル

クルマの後端の下と後輪のトレッド面を結んだ線の角度。背離角とも呼びます。

グランドクリアランス (最低地上高)

クルマの底と路面との距離のこと。ロードクリアランスとも呼ばれます。

アプローチアングル

クルマの先端の下と前輪のトレッド面を結んだ線の角度。近接角とも呼びます。

段差乗り越えを支える4WD

大きな段差を乗り越えようというときに大きく貢献するのが4WDシステムです。たとえば前輪の半分ほどもある段差をイメージしてください。その大きな段差に対して、FR（後輪駆動）の場合、前輪に段差をのぼる力がありません。そのためクルマは後輪の力で段差を押すだけで大きな段差を乗り越えることができません。FF（前輪駆動）の場合は、前輪が段差を上ろうとしますが、路面からタイヤが浮くと、前輪を段差に押し付ける力が失われて、やはり段差を乗り越えることができません。4WDの場合は、前輪が段差を上り、後輪が前輪を押し付けるため、段差を乗り越えることが可能となります。



大きな段差を乗り越えるときに4WDであることが大きな意味を持ちます。

最大渡河能力を左右する要因

SUVのオフロードの性能を示す数値として最大渡河水深があります。どれだけ深い水を渡ることができるのかという数字です。これはグランドクリアランスが大きいくほど有利になります。ただし、実際のところはエンジンの空気取り入れ口とマフラーの排気口の位置と構造が重要となります。なぜなら、その2つの位置が悪いと、エンジンが止まってしまうからです。そのため通常の乗用車であれば最低地上高ほどの水の深さでもマフラーが水没するため危険になります。車検に合格するギリギリの数値が90mmであり、乗用車であれば150～200mmが一般的な数字となります。500mmは非常に優秀な数値です。



渡河能力向上にはグランドクリアランスだけでなく、エンジンの吸気・排気システムも重要になります。

SUVのアングルの目安

オンロード重視のSUV

オンロードを重視した乗用車派生のSUVはクロスオーバーとも呼ばれることの多い車種です。それらのアプローチアングルは23～29度というのが多数派となります。グランドクリアランスは220mm程度。大きな突起や段差、深い水たまりは苦手です。



オン&オフ両方を重視するSUV

オンロードだけでなくオフロードの走破性も重要視したSUVの場合、アプローチアングルは25～35度が多くなります。グランドクリアランスは200～250mmほどが多数派となっているようです。ベンティガも、この範疇にあります。



オフロード重視のSUV

オフロードの性能を重視するSUVは、オーバーハングが短いものが多くなり、その結果、アプローチアングルは35～40度にもなり、グランドクリアランスは240～280mmにもなります。渡河能力は700～900mmになるモデルも存在します。

